

就職内定報告 2019

造形学部

デザイン・造形学科

グラフィック・プロダクトデザインコース

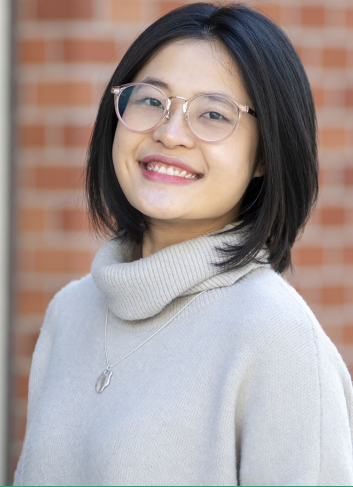
4年

留学生 / ベトナム 出身

内定企業

ミュージー株式会社 / グラフィックデザイナー

事業内容：スポーツメーカーやスポーツチーム、アパレルメーカーなどの広告・宣伝の企画・制作とポスター・カタログ・店頭 POP の制作



グラフィックデザインとの出会い

高校生の頃から Photoshop を使って画像を作ることが好きだったのですが、卒業後はベトナムの短期大学でマーケティングを学んでいました。短期大学在学中に広告会社の営業職としてインターンシップに参加する機会があり、そこで広告のデザインに触れたことがきっかけでグラフィックデザインを学びたいと思うようになり、日本への留学を選択しました。来日後、当初は専門学校への進学を考えていましたが、専門知識だけでなく4年間でさまざまなことが学べる大学へ、そしてデザインの知識を基礎から学べる BUNKA への入学を決めました。



4年間の集大成となる卒業研究では、ベトナムの国花である蓮をモチーフにしたウェディングアイテム（招待状や会場の席次表など）をデザインしました。



インターンシップで学んだこと

「日本でグラフィックデザイナーになりたい」という気持ちは入学時からあったため、専門知識や技術の習得はもちろん、低学年のうちから就職につながる準備活動を積極的に行いました。特にインターンシップではグラフィックデザインの仕事だけでなく、店舗のディスプレイを制作する業務も経験しました。そこではデザインをする側ではなく、デザイン画をもとに展示物の制作をしたのですが、デザイン通りに作れないものはデザイナーと相談をしながら作り上げていくことで、チームワークの大切さや、他のメンバーがどのような役割で業務にあたっているかを理解することの重要性を実感しました。就職をする前にこのような経験ができたことは大変有意義でした。

やりたいことは諦めない

私が所属していたグラフィック・プロダクトデザインコースは課題の種類も多く、就職活動との両立は大変なこともありましたが、どちらも諦めずにがんばり続けたことで、自分にとって一番良い進路を見つけられたと感じています。内定をいただいたミュージー(株)は、新しい会社で社員も10人程度の小規模な会社です。実は規模の大きい企業からも内定をいただいたのですが、小規模な会社の方がグラフィックデザイン以外の業務も経験できる機会があるのではと感じました。また、幼いころからさまざまなスポーツ競技を行っていたため、ミュージー(株)が国内外のスポーツメーカーやチームなどの広告・宣伝に実績があったことも魅力的でした。「日本でグラフィックデザイナーになる」という夢をかなえることができたのも、やりたいことを諦めずに続けてきたからだと思います。これからもこの気持ちを忘れず、がんばっていきます。



文化学園大学ホームページ

<https://bwu.bunka.ac.jp/>